



JASDAQ

平成28年7月29日

各 位

会社名 株式会社シーエスロジネット
代表者名 代表取締役社長 高木 敏明
(JASDAQ・コード番号 2710)
問合せ先 取締役社長室長 乙守 俊秀
TEL (052) 354-7797

〔訂正〕「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成25年2月8日に開示いたしました「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、本日公表の「有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社シーエスロジネット
 コード番号 2710 URL <http://www.indis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金岡 正光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 金岡 昭光 TEL 052-354-7797
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,202	△17.1	△26	-	△12	-	△56	-
24年3月期第3四半期	15,925	23.7	270	△4.2	317	11.9	128	△34.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △71百万円(-%) 24年3月期第3四半期 40百万円(△76.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△11.84	-
24年3月期第3四半期	26.97	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	7,843	3,716	47.4	784.38
24年3月期	8,521	3,834	45.0	808.81

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,715百万円 24年3月期 3,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
25年3月期	-	0.00	-		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正の詳細につきましては、本日発表の「平成25年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△13.6	△50	-	△40	-	△50	-	△10.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	5,257,950株	24年3月期	5,257,950株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	520,346株	24年3月期	520,346株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	4,737,604株	24年3月期3Q	4,766,004株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、「添付資料」P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により景気は緩やかに回復しつつあるものの、長引くデフレや円高に伴う国内企業の収益に対する影響による失業、倒産の増加、さらに欧州を中心とした世界景気の下振れ懸念など、経済の先行き不透明感から個人消費市場は依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループの事業領域のうち、映像ソフト市場におきましては、邦画、洋画とも映画興行収入が100億円を越すヒット作がなかったことや、DVDからブルーレイディスクへのシフトが思うように進まないことなどから映像ソフト全体の生産高は前年を下回りました。

音楽ソフト市場におきましては、Mr. Childrenや山下達郎、松任谷由実等のベテラン大物アーティストのベスト盤のヒットによりCDアルバムの売上高は堅調に推移しました。CDシングルにおいてもAKB48が2012度の売上高ベスト5を独占するなど話題も多く、その結果、2012年度のレコードメーカーのCD生産高は数量、金額とも6年ぶりに前年を上回ることとなりました。

コンシューマーゲーム市場におきましては、iPhone、スマートフォン等の普及に伴う携帯端末向けの配信型のゲームソフトの台頭により、ソニーコンピューターエンタテインメントの「Play Station Vita」、任天堂の「3DS」等主力のゲーム機が通信機能を備え、ダウンロード型のソフトにシフトするなか、ゲーム機本体とともにパッケージソフトの販売市場は厳しい状態で推移しました。

このような環境のもと、映像ソフト市場におけるシェアの拡大と売上総利益率の改善に加え、グループ全体の業務効率の向上による経費の削減に努めてまいりましたが、映像ソフトの売上高が計画を下回ったことと、ヒット作の不足によるゲームソフトの売上高の減少等により、売上高、利益面ともに厳しい結果となりました。

以上の結果、売上高は13,202百万円（前年同期比17.1%減）となり前年同期を大幅に下回りました。経費面においても業務の効率化等を行い経費削減に努めたものの、売上高の減少を補うまでには至らず、営業損失は26百万円（前年同期の営業利益は270百万円）、経常損失は12百万円（前年同期の経常利益は317百万円）、四半期純損失は56百万円（前年同期の四半期純利益は128百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①卸売事業

a. 音楽映像ソフト

当部門の売上高は、音楽ソフト市場においては比較的堅調に推移したものの、映像ソフト市場の減少の影響が大きく9,874百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

b. コンシューマーゲーム

当部門の売上高は、ゲームソフトにおけるヒット作の減少とダウンロード型のソフトの台頭により、1,550百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

c. 関連商品

当部門の売上高は、記録メディアの売上高の減少の影響等により、453百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

d. その他

当部門の売上高は、ゲームソフト、音楽映像ソフトメーカーの物流受託業務を行うTPL事業において、一部取引先の減少があったものの、その他の売上が比較的堅調であったため、508百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

以上により、卸売事業全体の売上高は、前年同期比17.2%減の12,387百万円となりました。

②小売事業

当部門の売上高は、当社直営の既存店舗の売上高が減少しており、815百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ678百万円の減少となりました。また、純資産の残高は3,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産においては、前連結会計年度末に比べ645百万円減少した4,439百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の減少によるものです。

固定資産においては、前連結会計年度末に比べ32百万円減少した3,403百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア等の無形固定資産の償却による減少です。

(負債)

流動負債においては、前連結会計年度末に比べ412百万円減少した3,107百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものです。

固定負債においては、前連結会計年度末に比べ146百万円減少した1,020百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済によるものです。

(純資産)

純資産においては、前連結会計年度末に比べ118百万円減少した3,716百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当と四半期純損失を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月8日に公表しました「平成25年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,012,606	905,030
受取手形及び売掛金	2,172,896	2,374,805
有価証券	271	349
たな卸資産	1,731,430	949,147
その他	<u>177,113</u>	<u>220,129</u>
貸倒引当金	<u>△8,678</u>	<u>△9,782</u>
流動資産合計	<u>5,085,639</u>	<u>4,439,680</u>
固定資産		
有形固定資産	707,563	695,867
無形固定資産	271,172	207,237
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>896,378</u>	<u>897,355</u>
敷金及び保証金	1,001,439	997,766
その他	<u>565,339</u>	<u>612,796</u>
貸倒引当金	<u>△5,707</u>	<u>△7,171</u>
投資その他の資産合計	<u>2,457,449</u>	<u>2,500,746</u>
固定資産合計	<u>3,436,185</u>	<u>3,403,851</u>
資産合計	<u>8,521,824</u>	<u>7,843,531</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<u>2,868,255</u>	<u>2,330,711</u>
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	<u>180,100</u>	<u>86,624</u>
賞与引当金	47,658	22,674
その他	<u>423,568</u>	<u>467,043</u>
流動負債合計	<u>3,519,584</u>	<u>3,107,053</u>
固定負債		
社債	142,400	113,600
長期借入金	560,898	435,810
役員退職慰労引当金	291,346	304,447
その他	172,606	166,554
固定負債合計	<u>1,167,250</u>	<u>1,020,411</u>
負債合計	<u>4,686,834</u>	<u>4,127,465</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,510	598,510
資本剰余金	545,000	545,000
利益剰余金	<u>3,003,581</u>	<u>2,900,093</u>
自己株式	<u>△142,231</u>	<u>△142,231</u>
株主資本合計	<u>4,004,861</u>	<u>3,901,373</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>68,787</u>	<u>55,688</u>
土地再評価差額金	<u>△241,827</u>	<u>△241,827</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△173,040</u>	<u>△186,139</u>
少数株主持分	3,169	832
純資産合計	<u>3,834,990</u>	<u>3,716,066</u>
負債純資産合計	<u>8,521,824</u>	<u>7,843,531</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	15,925,522	13,202,499
売上原価	<u>13,991,842</u>	<u>11,724,568</u>
売上総利益	<u>1,933,679</u>	<u>1,477,931</u>
販売費及び一般管理費	1,663,342	1,504,595
営業利益又は営業損失(△)	<u>270,337</u>	<u>△26,664</u>
営業外収益		
受取利息	2,991	2,766
有価証券売却益	51,486	—
受取手数料	5,621	7,067
その他	6,951	14,583
営業外収益合計	<u>67,049</u>	<u>24,417</u>
営業外費用		
支払利息	11,851	8,051
為替差損	4,797	—
その他	3,514	2,094
営業外費用合計	<u>20,163</u>	<u>10,145</u>
経常利益又は経常損失(△)	<u>317,223</u>	<u>△12,391</u>
特別利益		
保険解約返戻金	17,902	2,292
その他	2,601	—
特別利益合計	<u>20,504</u>	<u>2,292</u>
特別損失		
減損損失	—	230
投資有価証券評価損	32,179	411
その他	2,180	36
特別損失合計	<u>34,359</u>	<u>678</u>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	<u>303,368</u>	<u>△10,777</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>179,841</u>	<u>52,476</u>
法人税等調整額	<u>△3,698</u>	<u>△4,805</u>
法人税等合計	<u>176,142</u>	<u>47,671</u>
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>127,226</u>	<u>△58,448</u>
少数株主損失(△)	<u>△1,302</u>	<u>△2,337</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>128,529</u>	<u>△56,111</u>

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	127,226	△58,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,293	△13,099
その他の包括利益合計	△86,293	△13,099
四半期包括利益	40,933	△71,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,236	△69,210
少数株主に係る四半期包括利益	△1,302	△2,337

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	14,968,884	956,637	15,925,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,968,884	956,637	15,925,522
セグメント利益又は損失(△)	<u>596,554</u>	△41,553	<u>555,000</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	<u>555,000</u>
のれんの償却額	△9,174
全社費用(注)	△275,488
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>270,337</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	12,387,121	815,378	13,202,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	12,387,121	815,378	13,202,499
セグメント利益又は損失(△)	<u>349,199</u>	△108,358	<u>240,841</u>

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	<u>240,841</u>
のれんの償却額	△3,058
全社費用(注)	△264,447
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△26,664</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。